

事業所名

にじいろクレヨン

支援プログラム（参考様式）

作成日

2024年

4月

15日

法人（事業所）理念		一人一人の人権を尊重し、それぞれの個性を大事にしながら、日常生活の基本や集団行動における適応力の習得、知育の向上など、一人ひとりに合った方法で支援を行い「できた」が感じられ、自己肯定感が高められるように支援し、お子さまが将来、困りごとがなく地域で幸せに生活できることを目指します。						
支援方針		<p>成功体験から「できる喜び」を知り、自己肯定感を高めます。 学習を通して学ぶ楽しさを感じてもらい、自信を付けます。 基本的な生活習慣を身につけ、社会性を育みます。 他者との関わりを通して、優しさや思いやりを養います。 地域、ご家庭との連携を大切に双方向での支援に努めます。</p>						
営業時間		9時	0分	18時	0分まで	送迎実施の有無	あり	なし
支 援 内 容								
本人支援	健康・生活	<ul style="list-style-type: none"> 健康・生活の領域では、健康な心と体を育て自ら健康で安全な生活を作り出すことを支援します。 睡眠・食事・排泄等の基本的な生活スキルを獲得できるように支援していきます。 お子さまの障害特性や発達の過程・特性等を考慮しながら小さなサイン～心身の異変に気付けるよう、きめ細かな観察を行います。 障がい特性に配慮し、時間や空間を本人にわかりやすく構造化することを行います 						
	運動・感覚	<ul style="list-style-type: none"> 身体の動かし方を習得し自信が持つ感覚を豊かにするための支援をしていきます。 姿勢保持や運動・動作で困難なことがある場合は、補助用具等の補助手段を活用し足りしながら支援します。 様々な感覚遊びを通して支援していきます。ただし、感覚認知の特性（感覚過敏や鈍麻）を踏まえた感覚の偏りに対する環境調節等の配慮も行います。 						
	認知・行動	<ul style="list-style-type: none"> 数や大きさ、色などの様々な概念の理解や適切な行動の取得を支援します。 視覚、聴覚、触覚等の感覚を十分に活用して、必要な情報を収集して認知の発達を促し、行動につなげる支援をします。 感覚や障害特性を理解しながらイラストによるタイムスケジュールやタイムタイマー等を用いる等、配慮しながら支援します。 感覚や認知の偏り、コミュニケーションの困難性から生じる行動障害の予防、及び適切な行動への対応の支援をします。 						
	言語 コミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> 言葉によるコミュニケーション手段だけでなく、文字や記号、ジェスチャー等さまざまな方法を活用しながら、お子さまが意思の伝達が行いやすい方法で支援をします。 障がい特性に応じて文字を大きくしたりタブレットを用いたりする等の配慮、工夫をしながら支援をします。 						
	人間関係 社会性	<ul style="list-style-type: none"> 他者との関係構築や集団参加への支援をします。 発達段階に合わせ、親以外の大人との関係から他児との平等の関係へとスモールステップを積みながら、お子さまが他者との安定した関わり方の取得ができるように支援します。 集団参加への躓きがあるお子さまには「ただ慣れさせる」のではなく、集団の中でのどこに躓きの原因があるのかアセスメントし、明確化して支援します。 						
家族支援		<p>活動内容を報告しご家庭で取り組める活動の助言を行います。 兄弟等も含め悩み・困りごとについて相談に乗りアドバイスを行います。 保護者会（勉強会・茶話会）を実施します。</p>			移行支援		個々のニーズに合わせ他事業所及び学校等との情報を共有し、連携を図ります。	
地域支援・地域連携		<p>相談支援事業所、医療機関・保健センター・児童相談所等の専門機関との密な連携を図ります。 個別のケース会議等への参加を適宜行います。</p>			職員の質の向上		事業所内研修実施、外部研修への参加を行います。	
主な行事等		季節の移り変わりを感じられるよう、各季節ごとに沿ったイベントや製作を行います。 防災訓練を行います。						